



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月15日

上場会社名 INCLUSIVE株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7078 URL https://www.inclusive.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 本間 紀章 TEL 03 (6427) 2020
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,012	△12.1	36	△84.8	46	△80.1	26	△82.4
2020年3月期第3四半期	1,152	—	243	—	234	—	149	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 26百万円 (△82.4%) 2020年3月期第3四半期 149百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	10.91	10.83
2020年3月期第3四半期	68.77	66.24

(注) 1. 当社は、2019年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2019年9月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 当社は、2019年12月20日付で東京証券取引所マザーズに上場したため、2020年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2020年3月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,228	1,302	58.4
2020年3月期	1,588	1,275	80.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,301百万円 2020年3月期 1,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,365	△9.3	2	△99.2	11	△95.6	△11	—	△4.59

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	2,420,400株	2020年3月期	2,420,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	52株	2020年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	2,420,354株	2020年3月期3Q	2,178,922株

(注) 当社は、2019年9月30日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、貿易摩擦や地政学リスクの上昇に端を発した国際情勢の緊迫化の影響が一部あり、また、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞の影響を受け、景況感が悪化し不透明な状況が続いております。その一方で、当社グループが属するインターネット広告領域においては、過去数年にわたり成長基調が継続しておりますが、当期については足元での一部広告実施を控える動きも見られ、一時的に影響を受けている状況が発生しました。

当社グループではこうした市場環境のもと、メディア企業のデジタルトランスフォーメーションを支援しており、情報価値の高いインターネットメディアの運営、収益化支援に努めております。また、関連サービス領域としてアドテクノロジーを活用した広告配信サービスの提供や広告プランニングサービスなどを提供する事で、多様化するクライアントのコミュニケーションニーズに対応してまいりました。

特に当社グループでは、メディアマネジメントサービスにおける既存取引先との関係強化とデジタルトランスフォーメーションの推進支援による運営メディアの獲得や、既存メディアの収益力強化に注力しております。また、当社グループが中長期的な注力領域とする地域サービスの展開に関しては、2019年12月に福岡放送の新規キュレーションメディアサービスである『ARNE』の立ち上げを支援し、2020年3月には北海道にフォーカスしたウェブメディア『北海道Likers』を譲り受けました。さらに、2020年4月には大阪府枚方市の地域ユーザー向けのウェブメディア『枚方つーしん』を運営する株式会社morondoを子会社化いたしました。また、2020年11月には注文住宅領域において、専門家登録数では本邦最大級のサービスプラットフォーム『SuMiKa』を譲り受けることを合意しました。今後は『SuMiKa』にとどまらず、ローカルメディアとの連携や、地域事業会社との連携を加速化させることで、パーティカルメディア領域を次なる収益の軸として強化してまいります。

今後につきましても、地域メディア企業等との連携を通してメディアネットワークを拡大する戦略を継続してまいります。これらの活動の結果として、当第3四半期連結累計期間においては、期初には一部クライアントの予算縮小に伴う取引解消や取引の縮小が発生した一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時的に遅延していた新規案件の獲得が直近は進捗した影響もあり、新規支援先メディアの獲得は順調に進捗したことから、2020年12月末でのメディアマネジメントサービスにおける運営・支援メディア数は45となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,012,724千円(前年同四半期比12.1%減)、売上総利益は504,024千円(前年同四半期比22.7%減)、営業利益は36,906千円(前年同四半期比84.8%減)、経常利益は46,626千円(前年同四半期比80.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は26,413千円(前年同四半期比82.4%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における経営成績の詳細は次のとおりであります。

(売上高)

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,012,724千円(前年同四半期比12.1%減)となりました。これは主に、直近では新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時的に遅延していた新規案件の獲得が徐々に活性化してきたものの、期間全般では同影響により、メディアマネジメントサービスにおいて、既存クライアントの予算縮小に伴う取引解消や取引の縮小が発生したこと、広告運用サービスにおける新規案件の受注に一部遅れが発生したことや、広告配信量の全体的な低下に伴い広告配信単価が減少したこと、また、一部のプロモーション活動が中止となったこと等からプロモーション企画・PRサービスの受注実績が相対的に低迷したことによるものです。

(売上原価、売上総利益)

当第3四半期連結累計期間における売上原価は508,700千円(前年同四半期比1.8%増)となりました。これは主に、メディアマネジメントサービスにおいて、サイト開発費やコンテンツ制作に関連する業務委託費等が減少した一方で、株式会社morondoの子会社化による人件費の増加等が発生したことによるものです。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は504,024千円(前年同四半期比22.7%減)となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は467,117千円(前年同四半期比14.3%増)となりました。これは主に、業容拡大に伴い採用を強化したことに伴う採用研修費の増加や、管理体制の強化を目的とした業務委託費の増加が発生したことによるものです。その結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は36,906千円(前年同四半期比84.8%減)となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

当第3四半期連結累計期間における営業外収益は11,972千円となりました。これは主に、助成金収入9,220千円によるものです。当第3四半期連結累計期間における営業外費用は2,253千円となりました。これは主に、支払利

息2,059千円によるものです。その結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は46,626千円(前年同四半期比80.1%減)となりました。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

当第3四半期連結累計期間において、法人税、住民税及び事業税14,465千円、法人税等調整額5,747千円を計上した結果、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は26,413千円(前年同四半期比82.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は2,058,626千円(前連結会計年度末比578,892千円増)となりました。これは主に、現金及び預金が506,970千円、受取手形及び売掛金が47,811千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は168,745千円(前連結会計年度末比59,822千円増)となりました。これは主に、のれんが61,143千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は553,911千円(前連結会計年度末比277,237千円増)となりました。これは主に、未払法人税等が71,188千円減少した一方で、短期借入金が150,000千円、1年内返済予定の長期借入金が134,683千円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は372,128千円(前連結会計年度末比335,722千円増)となりました。これは主に、社債が23,000千円、長期借入金が310,870千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,302,462千円(前連結会計年度末比26,875千円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が26,413千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。詳細につきましては、2021年2月9日に公表いたしました「2021年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,186,356	1,693,326
受取手形及び売掛金	234,051	281,863
その他	59,325	83,436
流動資産合計	1,479,733	2,058,626
固定資産		
有形固定資産	25,394	30,446
無形固定資産		
のれん	-	61,143
その他	390	214
無形固定資産合計	390	61,357
投資その他の資産	83,138	76,941
固定資産合計	108,922	168,745
繰延資産	9	1,129
資産合計	1,588,666	2,228,501
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,705	63,485
短期借入金	-	150,000
1年内償還予定の社債	17,000	27,000
1年内返済予定の長期借入金	-	134,683
未払法人税等	73,645	2,456
その他	124,322	176,286
流動負債合計	276,673	553,911
固定負債		
社債	32,000	55,000
長期借入金	-	310,870
その他	4,405	6,258
固定負債合計	36,405	372,128
負債合計	313,079	926,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,647	277,647
資本剰余金	427,647	427,647
利益剰余金	570,292	596,705
自己株式	-	△77
株主資本合計	1,275,586	1,301,922
新株予約権	-	540
純資産合計	1,275,586	1,302,462
負債純資産合計	1,588,666	2,228,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,152,156	1,012,724
売上原価	499,946	508,700
売上総利益	652,209	504,024
販売費及び一般管理費	408,707	467,117
営業利益	243,501	36,906
営業外収益		
助成金収入	1,140	9,220
その他	143	2,752
営業外収益合計	1,283	11,972
営業外費用		
支払利息	406	2,059
株式交付費	2,380	-
株式公開費用	6,526	-
その他	815	193
営業外費用合計	10,128	2,253
経常利益	234,656	46,626
税金等調整前四半期純利益	234,656	46,626
法人税、住民税及び事業税	81,312	14,465
法人税等調整額	3,497	5,747
法人税等合計	84,809	20,212
四半期純利益	149,847	26,413
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,847	26,413

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	149,847	26,413
四半期包括利益	149,847	26,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,847	26,413

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。